



BIKE-O & COMPANY

2012.12.1-2013.5.31

2013年11月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社 バイク王 & カンパニー

売上高20,768百万円(2012年11月期)

【バイク小売事業】～第二の収益の柱として育成～

売上高(内部取引消去前)4,876百万円 構成比20.6%

- ・直営小売店「バイク王ダイレクトSHOP」を展開
主に「バイク王」において買い取った中古バイクを
「バイク王ダイレクトSHOP」もしくは WEBを通じて販売
- ・WEBショップ「バイク王パーツSHOP」でバイクパーツ
を販売

【駐車場事業】～バイクユーザーの利用環境整備～

売上高(内部取引消去前)541百万円 構成比2.3%

- ・バイク駐車場、自動車駐車場、
バイクと自動車の併設駐車場等を展開

【バイク買取事業】～当社のコアビジネス～

売上高(内部取引消去前)18,232百万円 構成比77.1%

- ・買取専門店「バイク王」を全国に展開
TV、WEB等の各媒体で広告活動を展開し、バイクを買取・仕入
これらを主にバイクオークションを通じて売却、一部を当社運営の小売店にて販売

【個別】	2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況	P.4
【セグメント別】	2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況	P.11
【個別】	2013年11月期 第2四半期(累計) 財政状態	P.16
【個別】	2013年11月期 通期見通し/配当について	P.19
【参考資料】	今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等	P.24

注 原則として表示金額については百万円未満切捨てで表示しております。

■本資料における前期【みなし連結】の記載につきまして

当社は、2012年3月1日付で当社を存続会社、連結子会社である株式会社パーク王を消滅会社として吸収合併し、非連結会社となりました。このため、2012年11月期第2四半期決算から非連結決算【個別】へ移行しております。

本資料では、事業の継続性の観点から、一部ページで2012年11月期第2四半期(累計)の個別実績に1Qパーク王の実績を単純合算したみなし連結を記載しております。



BIKE-O
&COMPANY

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 財政状態

【個別】2013年11月期 通期見通し/配当について

【参考資料】今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等

決算のポイント

【個別】売上高	10,090百万円	前年同期比	4.9%減 (▲518百万円)
経常利益	273百万円	前年同期比	53.9%増 (+95百万円)

● バイク買取事業 ⇒詳細はP.12参照

- ・販売台数が前年同期比9.0%減
 - ・業務効率化を推進し、販売費及び一般管理費を抑制したことで1Qのマイナスからは回復基調
-

● バイク小売事業 ⇒詳細はP.14参照

- ・第二の成長の柱であるバイク小売事業の売上高は前年同期比19.0%増
-

● 駐車場事業

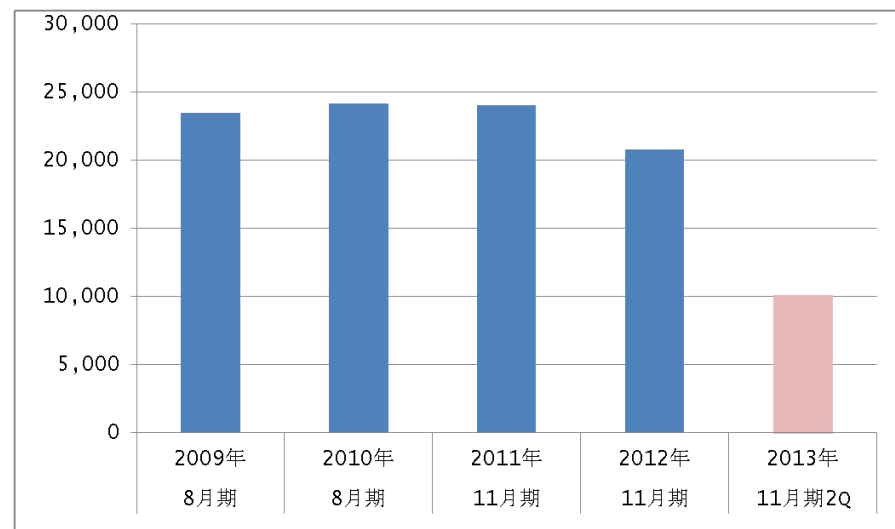
- ・料金改定、事業地開発を推進し、堅調に推移
-

2013年11月期 第2四半期(累計) 損益計算書

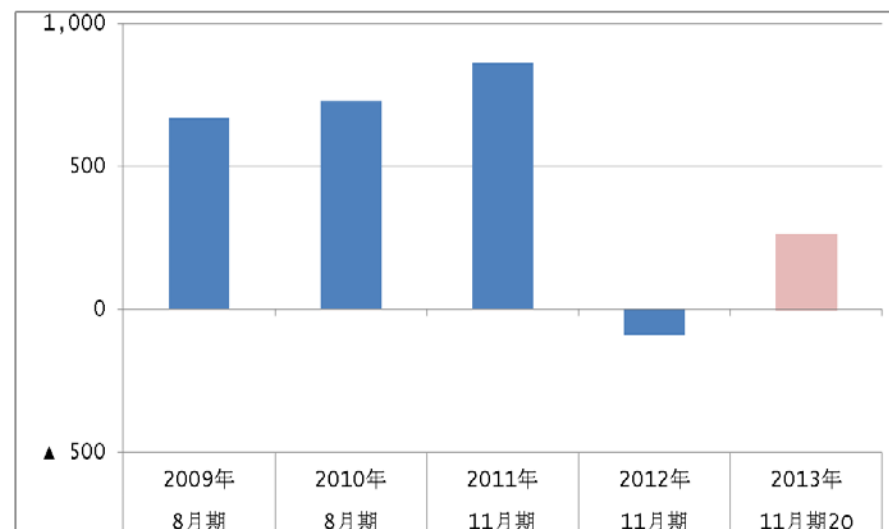
(単位:百万円)

	2012年11月期 2Q(累計)【個別】		2013年11月期 2Q(累計)【個別】		増減額	増減率	【参考】2012年11月期 2Q【みなし連結】	
	金額	百分比	金額	百分比			金額	増減率
売上高	10,608	100.0%	10,090	100.0%	▲ 518	▲ 4.9%	10,776	▲ 6.4%
売上原価	4,721	44.5%	4,451	44.1%	▲ 269	▲ 5.7%	4,877	▲ 8.7%
売上総利益	5,887	55.5%	5,638	55.9%	▲ 248	▲ 4.2%	5,899	▲ 4.4%
販管費	5,786	54.5%	5,450	54.0%	▲ 335	▲ 5.8%	5,804	▲ 6.1%
営業利益	100	1.0%	188	1.9%	87	86.3%	94	99.6%
経常利益	177	1.7%	273	2.7%	95	53.9%	172	58.8%
四半期純利益	184	1.7%	148	1.5%	▲ 35	▲ 19.3%	179	▲ 17.2%

【ご参考】売上高推移



【ご参考】経常利益推移



注1 2010年11月期は決算期変更(8月⇒11月)にともなう3ヶ月決算のためグラフを省略しております。

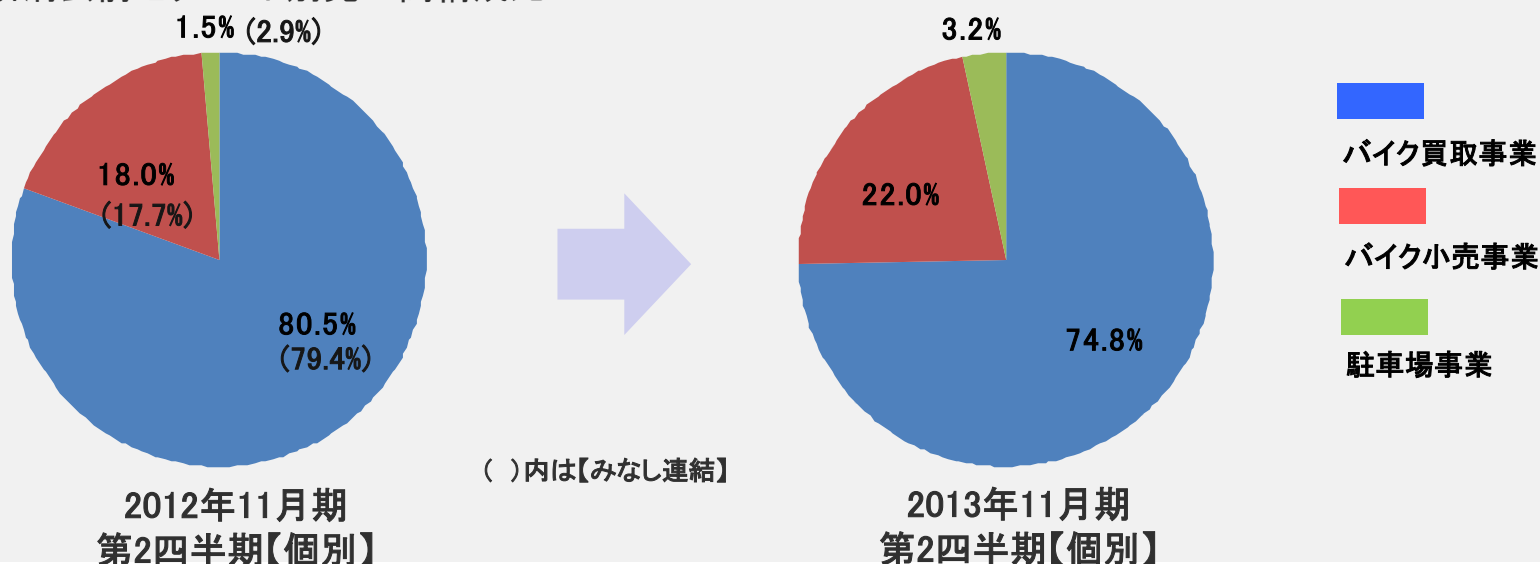
注2 2012年11月期2Qより非連結決算に移行しております。

2013年11月期 第2四半期(累計) セグメント別売上高

(単位:百万円)

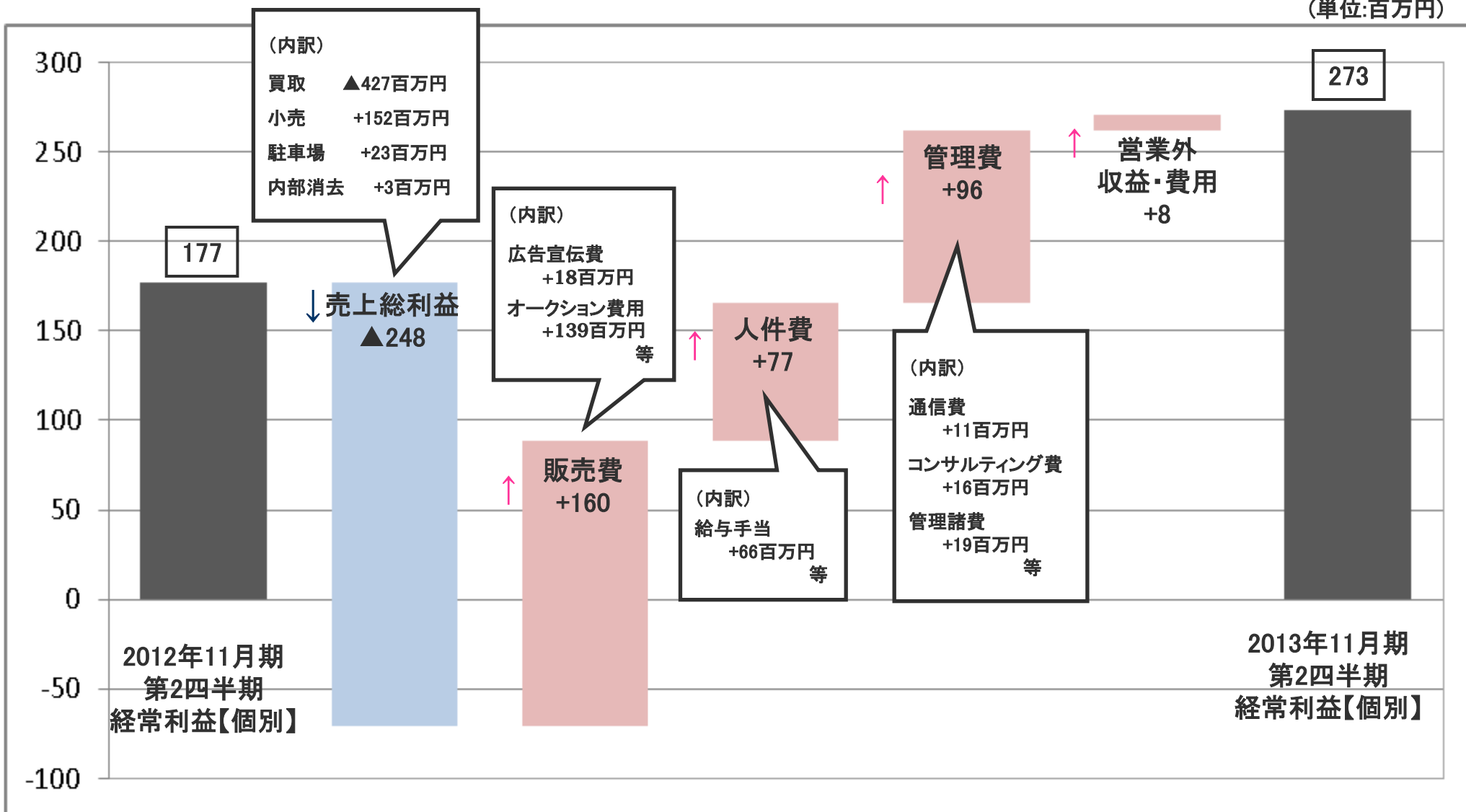
	2012年11月期 2Q(累計)【個別】		2013年11月期 2Q(累計)【個別】		増減額	増減率	2012年11月期 2Q【みなし連結】	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	増減率
売上高	10,608	-	10,090	-	▲ 518	▲ 4.9%	10,766	▲ 6.4%
バイク買取事業	9,582	80.5%	8,640	74.8%	▲ 942	▲ 9.8%	9,582	▲ 9.8%
バイク小売事業	2,137	18.0%	2,542	22.0%	405	19.0%	2,137	19.0%
駐車場事業	175	1.5%	371	3.2%	195	111.3%	343	8.1%
内部消去	▲ 1,286	-	▲ 1,463	-	▲ 176	-	▲ 1,286	-

■ 内部取引消去前セグメント別売上高構成比



2013年11月期 第2四半期(累計) 経常利益増減分析(前年同期比)

(単位:百万円)

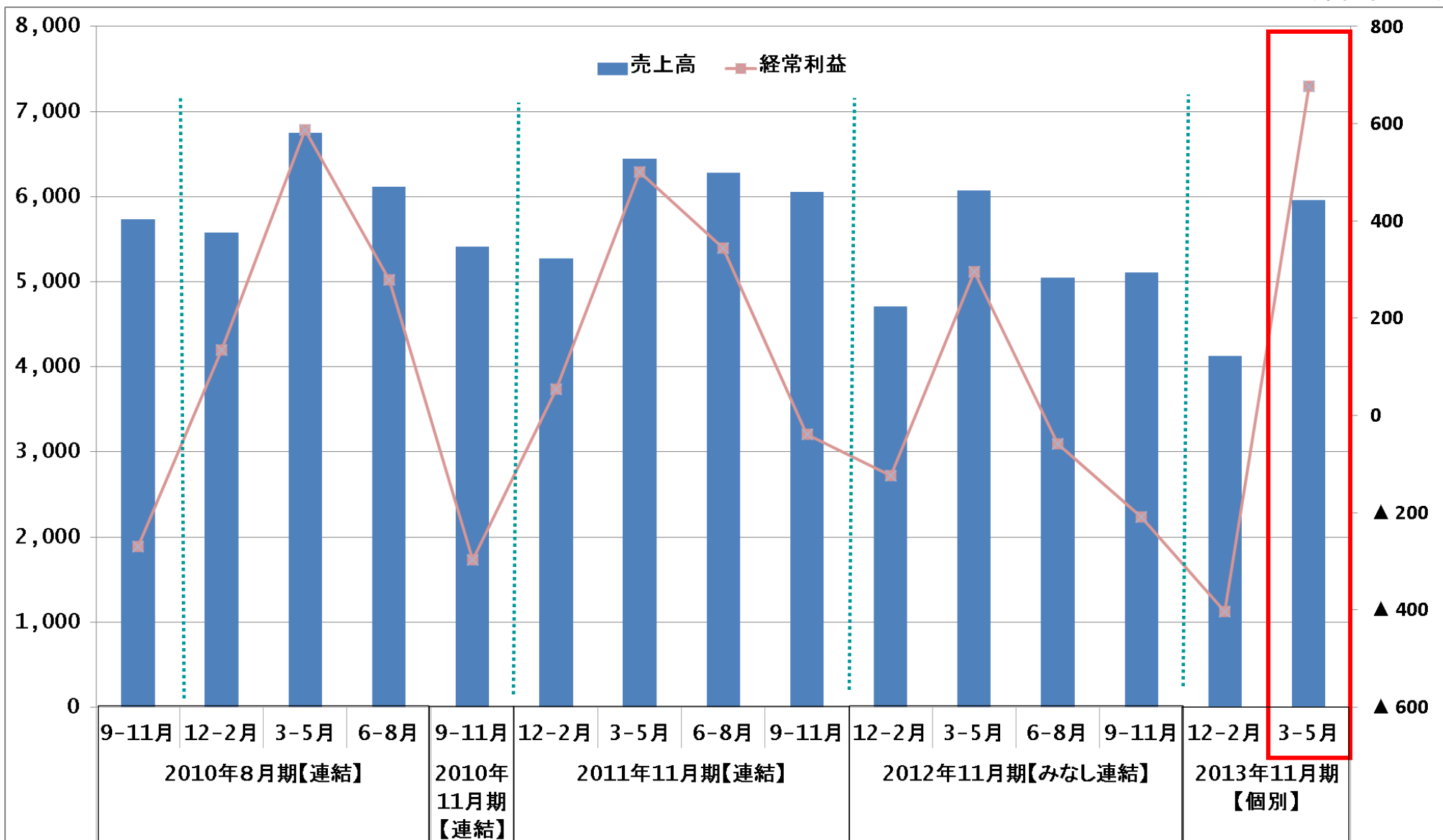


注1 販売費及び一般管理費の+(プラス)は削減を意味しております。

注2 広告宣伝費には広告制作費、販売促進費が含まれております。

四半期毎の売上高&経常利益

(単位:百万円)



四半期毎の業績

(単位:百万円)

	2011年11月期 【連結】				2012年11月期 【みなし連結】				2013年11月期 【個別】	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	5,275	6,450	6,277	6,052	4,706	6,070	5,052	5,107	4,128	5,962
バイク買取事業	4,746	5,817	5,525	5,424	4,196	5,385	4,310	4,340	3,503	5,136
バイク小売事業	757	946	1,229	1,030	843	1,294	1,387	1,352	1,080	1,462
駐車場事業	144	155	174	169	167	175	179	185	177	193
内部消去	▲ 372	▲ 468	▲ 652	▲ 572	▲ 501	▲ 785	▲ 824	▲ 770	▲ 632	▲ 830
売上原価	2,464	2,757	2,936	3,059	2,227	2,650	2,410	2,434	1,973	2,478
売上総利益	2,811	3,693	3,340	2,992	2,479	3,419	2,641	2,672	2,155	3,483
販売費及び一般管理費	2,795	3,196	2,996	3,046	2,647	3,157	2,736	2,906	2,605	2,845
営業利益	15	496	344	▲ 54	▲ 168	262	▲ 95	▲ 233	▲ 449	637
経常利益	54	501	344	▲ 38	▲ 114	286	▲ 58	▲ 211	▲ 403	677
四半期純利益	55	247	198	▲ 60	▲ 87	267	▲ 98	▲ 148	▲ 257	405

売上高季節占有率	21.9%	26.8%	26.1%	25.2%	22.5%	29.0%	24.1%	24.4%	—	—
経常利益季節占有率	6.4%	58.1%	39.9%	▲ 4.4%	—	—	—	—	—	—



BIKE-O
&COMPANY

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 財政状態

【個別】2013年11月期 通期見通し/配当について

【参考資料】今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等

◇今期方針 メインターゲットである手放し層への訴求の強化と、経常損益の黒字化を図る

■2Qで大幅増益も、累計では前年同期比で減収・減益

● 売上高：販売台数の減少等により、前年同期比9.8%減(▲942百万円)

【販売台数減少要因】

・ お申し込み件数は増加したものの、アポイント率、成約率が低下

【平均売上単価・平均粗利額の回復要因】

・ オークション市場における相場の回復基調を主要因に、平均売上単価・平均粗利額は前年同期並みに回復

● 経常利益：2Qにおいて販売費及び一般管理費を抑制し、回復基調
しかし、売上減少を補うまでは至らず、前年同期比21.6%減(▲39百万円)

(単位:百万円)

	2012年11月期 2Q(累計)	2013年11月期 2Q(累計)	増減額	増減率
売上高	9,582	8,640	▲ 942	▲ 9.8%
経常利益	184	144	▲ 39	▲21.6%
広告宣伝費	1,604	1,590	▲13	▲0.8%
買取成約率	86.1%	83.0%	▲ 3.1%	
販売台数(台)	77,281	70,362	▲ 6,919	▲ 9.0%
平均売上単価(円)	121,816	119,822	▲ 1,944	▲ 1.6%
平均粗利額(円)	66,610	66,686	76	0.1%

注 広告宣伝費には広告制作費、販売促進費が含まれております。

■前期を踏まえ、「手放し層」向けを強化(但し、企業CMは継続。買い替え層は機を見てチャレンジ)

◇繁忙期の取り組み

前期

3月末までTVCM「税金編」を出稿したことにより、3月にお申し込み件数が集中、対応が間に合わず機会損失が発生

今期

TVCM「税金編」の出稿タイミングを変更し、2月～4月のお申し込み件数を均し、機会損失をなくす取り組みを推進

3月のお申し込み件数は均されており、一定の成果は得られたものの、課題も残った

◇CMキャラクターの変更により、『バイク王』ブランドの訴求力向上を図る

新CMキャラクター「ルパン三世」

ハーレー&峰不二子フィギュアプレゼントキャンペーンを展開
キャラクターの特性とバイク王の強みを併せた広告展開を推進



ルパン三世
© モンキー・パンチ/TMS・NTV

- ・M1-M2層(20~49歳男性)への圧倒的な認知度と好感度、世代を超えて愛されているキャラクター
- ・バイクに乗っているシーンが多く展開され、バイクとキャラクターの親和性が高い



© モンキー・パンチ/TMS・NTV

◇今期方針 : 収益性向上を図りながら、事業規模を拡大させる

■既存店が好調に推移し、前年同期比で増収

- **売上高** 前年同期比 19.0%増(+405百万円)
平均売上単価は下落したものの、既存店の販売台数が好調に推移
- **経常利益** 前年同期比 125百万円増
売上高の増加にともない、収益性が改善

(単位:百万円)

	2012年11月期 2Q(累計)	2013年11月期 2Q(累計)	増減額	増減率
売上高	2,137	2,542	405	19.0%
経常利益	▲ 15	110	125	—
販売台数(台)	3,809	4,687	878	23.1%
平均売上単価(円)	484,572	469,330	▲ 15,242	▲ 3.1%
平均粗利額(円)	107,082	112,992	5,911	5.5%

◇今期方針 既存事業地の収益力向上と新規事業地の開発推進

■料金改定、事業地開発を推進し、堅調に推移

●売上高 前年同期比 8.1%増(+27百万円)

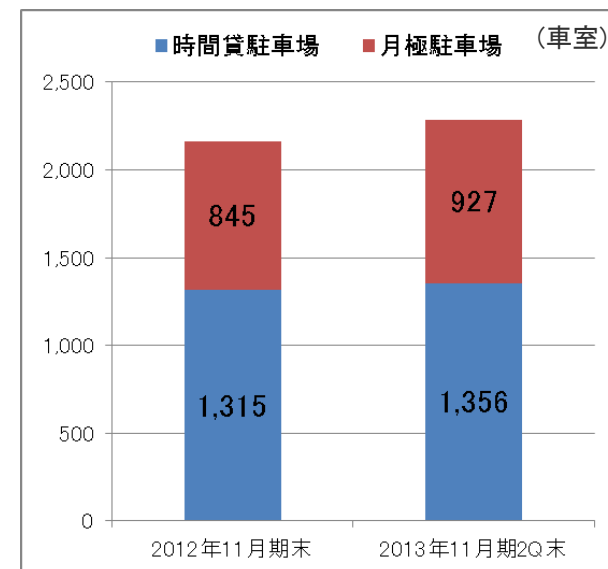
●経常利益 前年同期比 473.0%増(+15百万円)

(単位:車室)

	2012年 11月期末	2013年 11月期2Q末
時間貸駐車場	1,315	1,356
月極駐車場	845	927
合計	2,160	2,283

(単位:百万円)

	2012年11月期 2Q(みなし連結)	2013年11月期 2Q(累計)	増減額	増減率
売上高	343	371	27	8.1%
経常利益	3	18	15	473.0%



※子会社「パーク王」を本体に吸収合併(2012年3月1日付)

目的:駐車場事業はバイクユーザーの利用整備の観点から引き続き重要な事業であり、

「信用力の強化」、「収益性の向上」等を推し進める目的で、当該子会社を当社に吸収合併いたしました。



BIKE-O
&COMPANY

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 財政状態

【個別】2013年11月期 通期見通し/配当について

【参考資料】今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等

(単位: 百万円)

	2012年11月期 期末	2013年11月期 第2四半期	増減
流動資産合計	3,554	3,943	389
現金及び預金	1,780	2,277	497
棚卸資産	1,223	1,047	▲ 175
固定資産合計	2,139	1,990	▲ 149
有形固定資産	1,044	964	▲ 80
無形固定資産	82	70	▲ 12
投資その他の資産	1,012	955	▲ 56
資産合計	5,693	5,933	240
流動負債合計	1,195	1,365	170
固定負債合計	333	310	▲ 23
負債合計	1,529	1,676	146
純資産合計	4,163	4,257	93
負債・純資産合計	5,693	5,933	240
株主資本比率	73.0%	71.6%	▲ 1.4%

注 主要な科目を抜粋して表示しております。

増減ポイント

株主資本比率71.6%と引き続き財務の健全性維持

資産の部

《流動資産の増加 389百万円》
 現金及び預金497百万円、売掛金34百万円の増加、商品175百万円の減少等による

《固定資産の減少 ▲149百万円》
 減価償却等による有形固定資産および無形固定資産92百万円の減少、繰延税金資産の減少等による投資その他の資産56百万円の減少等による

負債・純資産の部

《流動負債の増加 170百万円》
 賞与引当金42百万円、未払法人税等28百万円の増加に加え、主に未払消費税等の増加による「その他」101百万円の増加等による

《純資産の増加 93百万円》
 利益剰余金93百万円の増加等による

(単位: 百万円)

	2012年11月期 2Q(累計)	2013年11月期 2Q(累計)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	93	625
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲515	▲37
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲68	▲91
IV. 現金及び現金同等物の増減額	▲490	497
V. 現金及び現金同等物の期首残高	2,910	1,780
VI. 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432	2,277



BIKE-O
&COMPANY

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 財政状態

【個別】2013年11月期 通期見通し/配当について

【参考資料】今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等

■通期業績予想(期初予想から変更なし)

(単位:百万円)

	2012年11月期 実績		2013年11月期 予想		増減額	増減率
	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	20,768	100.0%	21,403	100.0%	634	3.1%
売上原価	9,566	46.1%	9,800	45.8%	233	2.4%
売上総利益	11,201	53.9%	11,602	54.2%	401	3.6%
販管費	11,429	55.0%	11,505	53.8%	76	0.7%
営業利益	▲ 227	—	96	0.5%	324	—
経常利益	▲ 92	—	224	1.1%	317	—
当期純利益	▲ 62	—	73	0.3%	136	—

注 2012年11月期2Qより非連結決算に移行しております。

■外部環境

- ・オークション市場の相場は円安にともなう海外バイヤーの参加増等により回復傾向にある
- ・世界の経済環境が不安定な中、為替変動にともない海外バイヤーの動向が変化する可能性がある

この状況を踏まえ

オークション相場の下落リスク、平均売上単価下落リスク、経済環境悪化による需要減少リスク等、現時点で将来における不確実性が高いことから、期初の想定を変更しない

■下期の取り組み

全社における事業効率化の推進

●バイク買取事業

- ・効果的な広告宣伝活動により、幅広い顧客層への訴求力向上を図るとともに、営業力強化を推進する
- ・店舗の統廃合を実施し、事業効率化を図る

●バイク小売事業

- ・営業力強化を推進し、引き続き既存店舗の収益性向上を図る

■店舗統廃合の実施

2004年より「バイク王100店舗計画」を推進

- 目的
- ・TVCMとの相乗効果を狙った看板効果、認知度の向上
 - ・需要拡大に合わせた買取能力の増強

店舗展開を推進

2009年に「バイク王」100店舗を達成

- 効果
- ・TVCM効果と合わせ「バイク王」の認知度は向上、看板効果としての役割は達成
 - ・軽整備 & スtockヤード機能は物流網の拡充により代替(横浜物流センター設立等)

外部環境の変化

課題 店舗展開における経営効率の見直し

商圈の再設定、採算性検討を行い、6月1日以降14店舗の統廃合を実施

人員を再配置することにより事業効率化を推進

■ 基本的な考え方

業績・事業計画等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施

■ 1株当たり配当金額

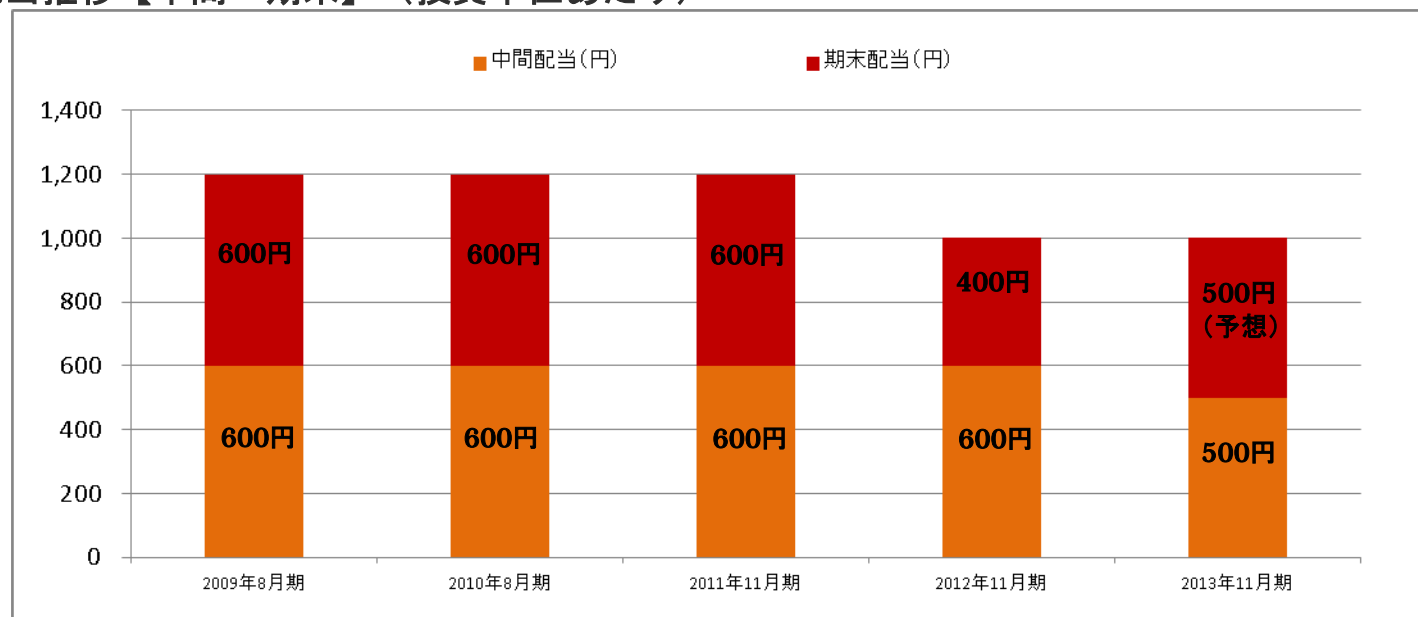
2013年11月期中間配当(確定) 500円

2013年11月期期末配当(予想) 5円(1単元(100株)配当 500円※)

※当社は6月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用いたしました。

投資単位(1単元)に対する配当予想額500円は変更なし

■ 配当推移【中間・期末】 (投資単位あたり)



注 2010年11月期については、決算期変更(8月⇒11月)にともなう3か月決算のため、記載を省略しております(ご参考:2010年11月期 期末配当金300円)



BIKE-O
&COMPANY

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

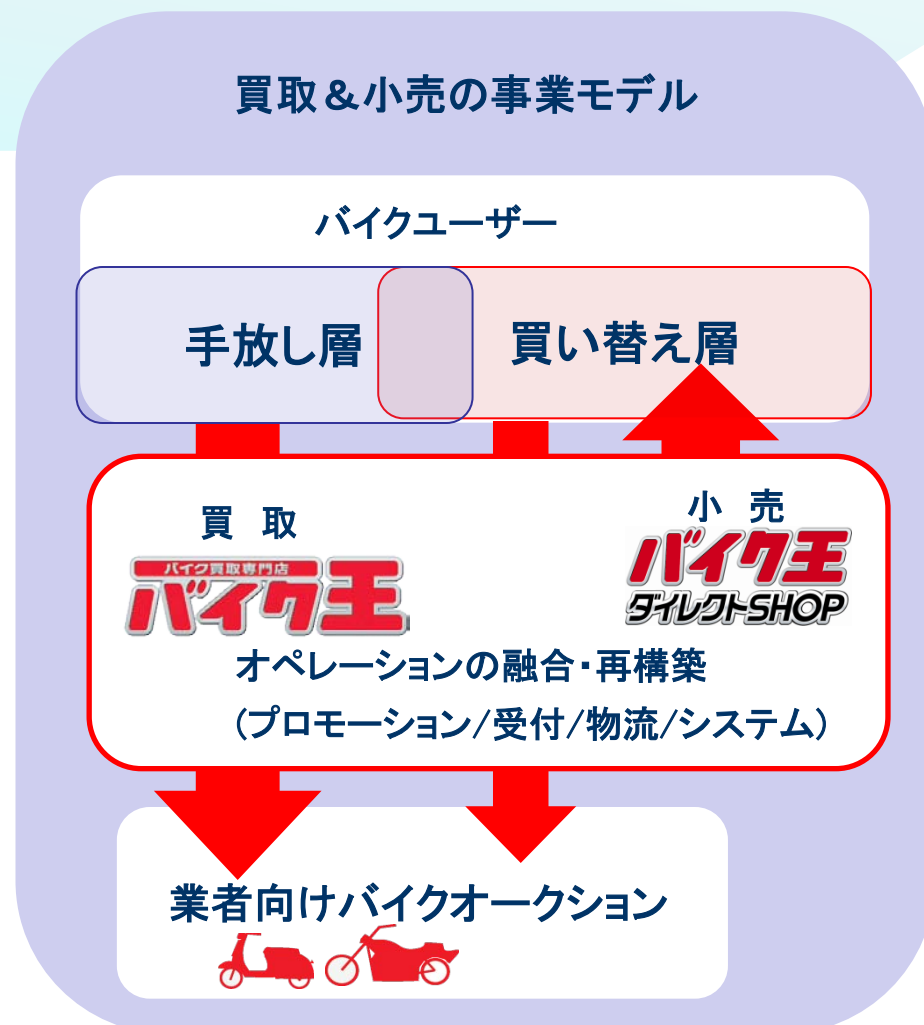
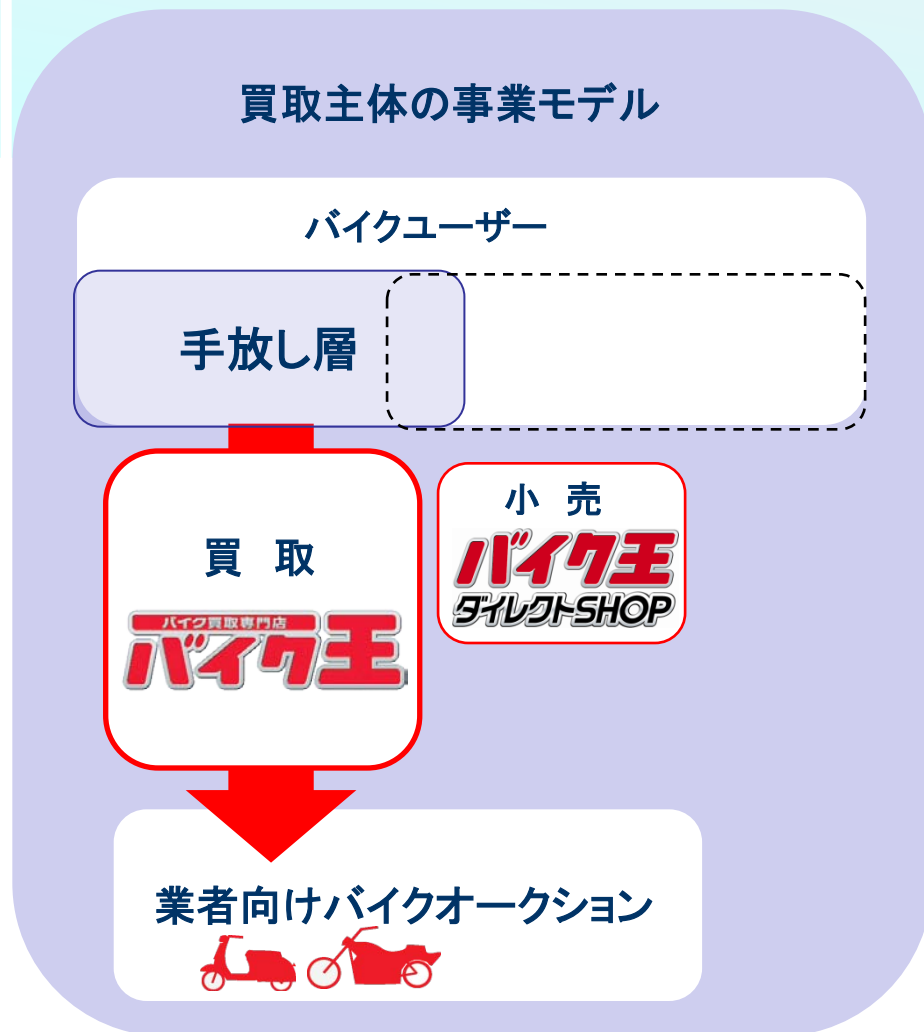
【セグメント別】2013年11月期 第2四半期(累計) 業績の概況

【個別】2013年11月期 第2四半期(累計) 財政状態

【個別】2013年11月期 通期見通し/配当について

【参考資料】今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等

「買取主体の事業モデル」から「買取 & 小売の事業モデル」へ移行を図る



会社名	株式会社バイク王 &カンパニー
本社所在地	〒150-0012東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階 TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050
事業内容	バイクの購入から売却までをトータル プロデュースする流通サービス業
設立	1998年9月(創業1994年9月)
資本金	585百万円(2012年11月末日現在)
売上高	20,768百万円(2012年11月期)
従業員数	872名(2013年5月末日現在)
役員	
代表取締役会長	石川 秋彦
代表取締役社長	加藤 義博
取締役副社長	大谷 真樹
取締役	山縣 俊
取締役(社外)	齊藤 友嘉
常勤監査役	産形 昭夫
監査役(社外)	諏訪 浩
監査役(社外)	山口 達郎

バイク王 &カンパニーの沿革	
1994年	9月 前身となるメジャーオート(有)を設立 以後、7法人を設立
1998年	9月 (株)アイケイコーポレーションを設立 その後、グループ会社を順次統合
2002年	12月 初のロードサイド店舗「バイク王新潟店」(新潟 県新潟市)がオープン
2004年	2月 バイク王テレビCMがオンエア開始
2005年	3月 独自の基幹システム「i-kiss」が本格稼働 6月 ジャスダック証券取引所に上場 9月 初の小売販売店「i-knew」を出店
2006年	3月 駐車場事業を営む(株)パーク王を設立 8月 東京証券取引所市場第二部に上場
2008年	6月 小売販売ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を 立ち上げ
2009年	8月 バイク王が100店舗展開に
2010年	12月 決算期の変更(8月⇒11月)
2011年	3月 株式会社ユー・エス・エスおよび株式会社ジャパ ンバイクオークションとバイクオークション事業 に関する業務・資本提携を開始 4月 「株式会社ジャパンバイクオークション」を株式取 得(当社出資比率:30.0%)により関連会社化
2012年	9月 商号変更(旧社名:(株)アイケイコーポレーション)

■全国に広がるバイク王 &カンパニーのビジネスネットワーク (2013.7.5現在)

◆本社

◆バイク買取店 バイク王 78店舗

◆バイク小売店 バイク王ダイレクトSHOP 11店舗

◆インフォメーションセンター<さいたま>

◆第二インフォメーションセンター<秋田>

◆横浜物流センター

◆さいたま物流センター

◆筑波物流センター

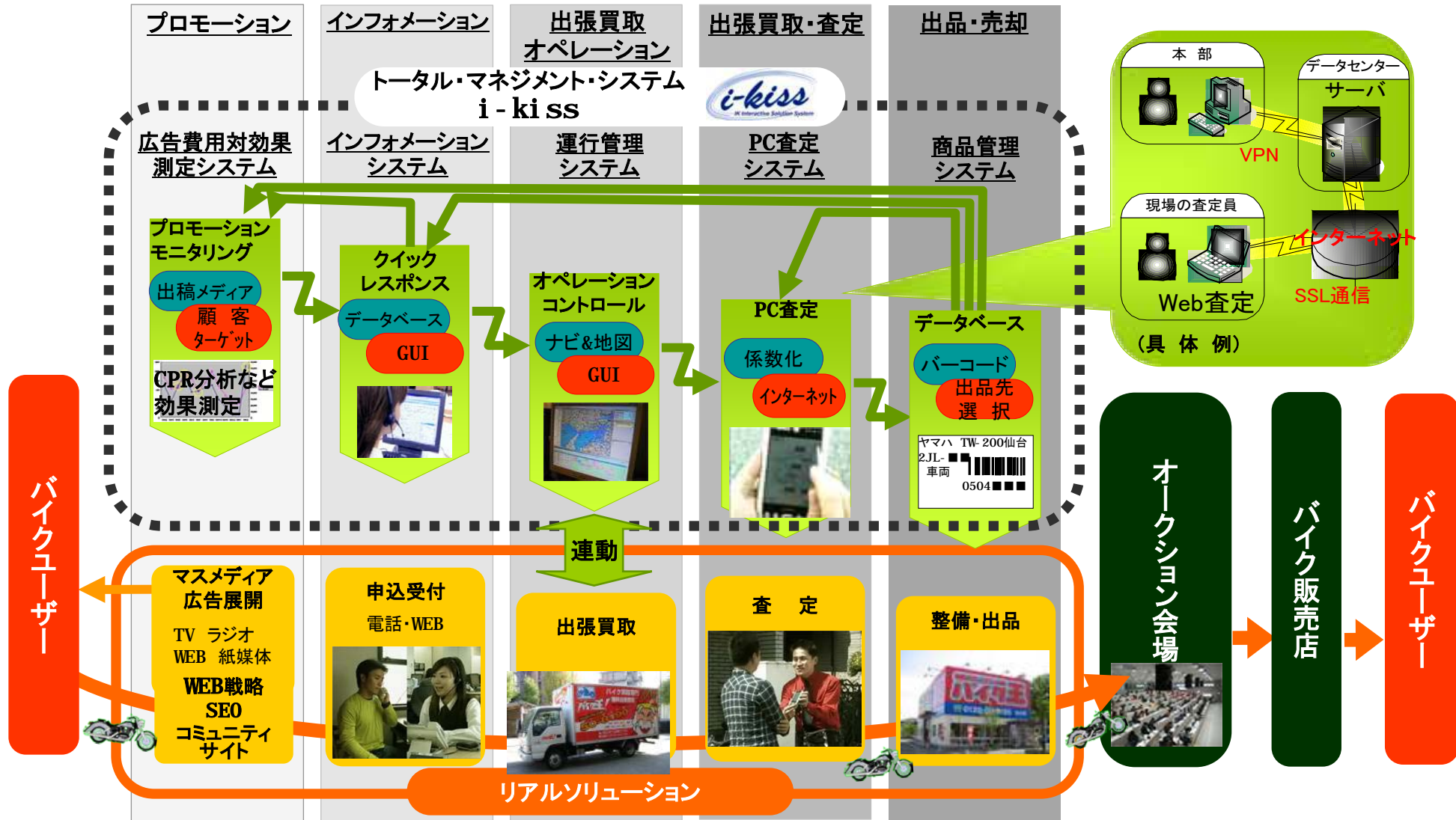
◆名古屋物流センター

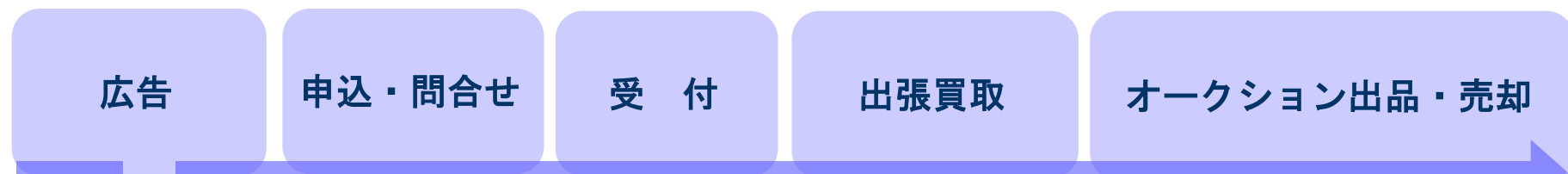
◆神戸物流センター

◆福岡物流センター

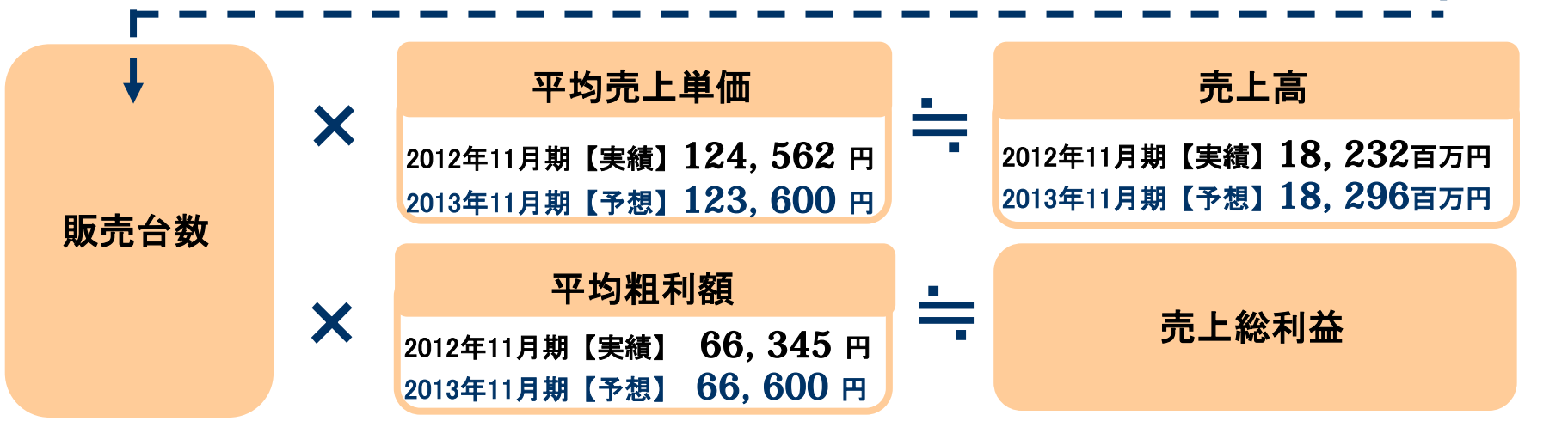


■ビジネスモデルとそれを支えるITシステム

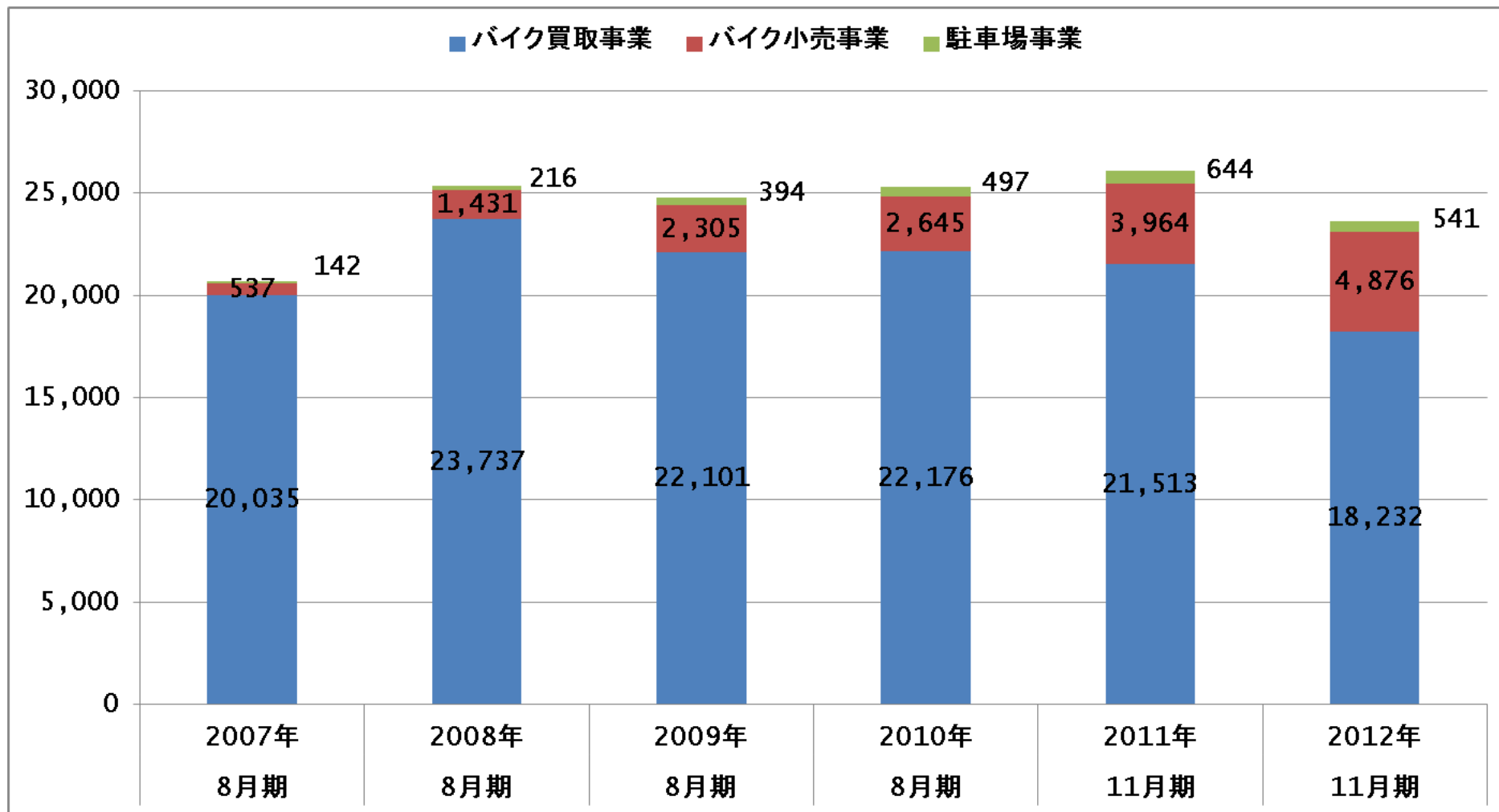




広告宣伝費	お申し込み件数	アポイント率	買取成約率	仕入台数	販売台数
2012年11月期 3,405百万円 【実績】			84.7%		144,004台
2013年11月期 3,445百万円 【予想】			84.3%		145,600台

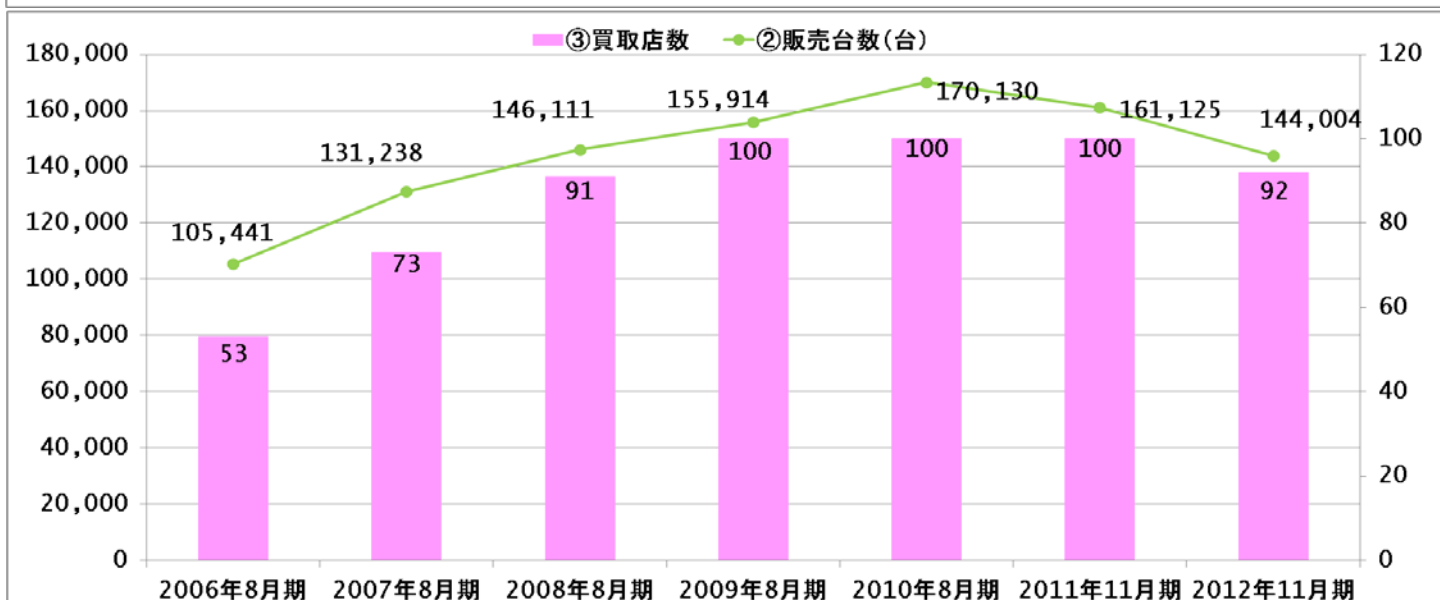
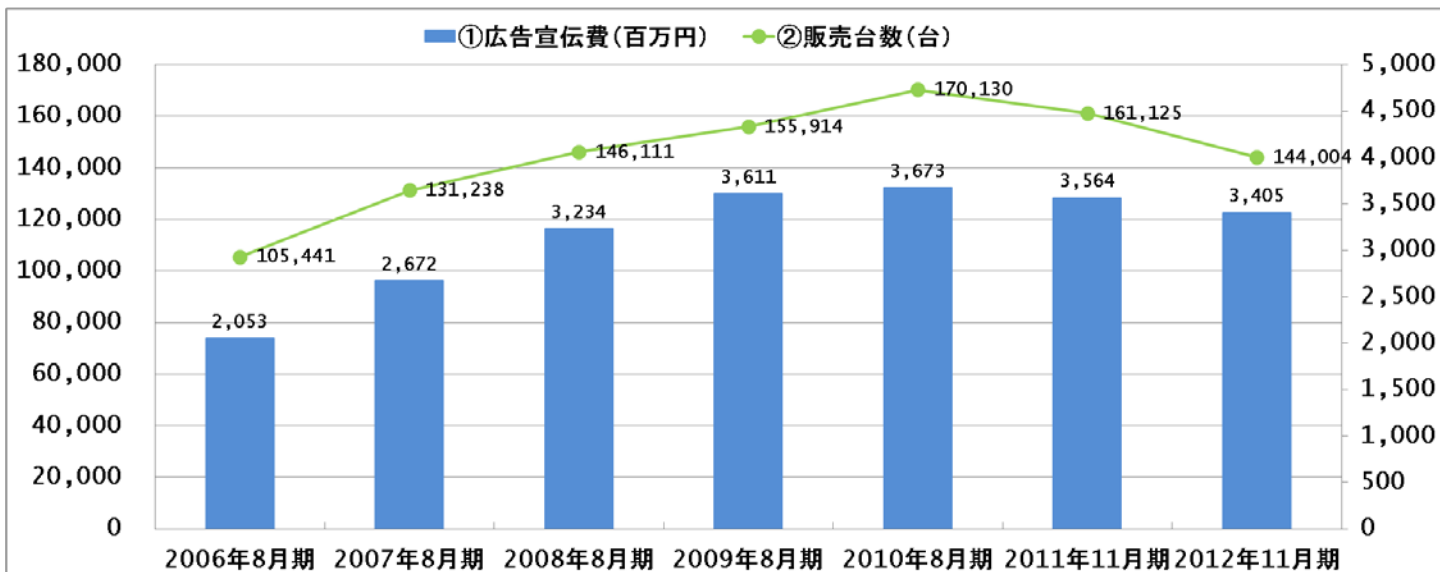


(単位:百万円)



注1 2010年11月期は決算期変更(8月⇒11月)にともなう3ヶ月決算のためグラフを省略しております。

注2 2010年11月期にセグメント区分の変更を行っておりますが、影響が軽微であるため、過年度遡及を行っておりません。



注1 2010年11月期は決算期変更(8月⇒11月)にともなう3ヶ月決算のためグラフを省略しております。

注2 2010年11月期にセグメント区分の変更を行っておりますが、影響が軽微であるため、過年度遡及を行っておりません。

■国内保有台数は全体として微減傾向も、比較的価値の高い原付二種以上の保有台数は微増傾向

保有台数の推移

(単位:千台)

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
1 2 5 c c 以下	原付一種(～50cc)	8,134	7,902	7,694	7,448	7,154	6,899
	原付二種(51～125cc)	1,397	1,429	1,479	1,511	1,540	1,582
1 2 5 c c 超	軽二輪(126～250cc)	1,950	1,976	1,996	1,992	1,975	1,959
	小型二輪(251cc～)	1,452	1,478	1,505	1,524	1,535	1,542
合 計		12,935	12,787	12,675	12,477	12,205	11,985

(出所)一般社団法人日本自動車工業会/各年3月末日ベース

■125cc超の中古流通台数は概ね堅調。新車販売台数は二年連続で40万台を維持

中古流通台数の推移

(単位:千台)

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
1 2 5 c c 以下		—	—	—	—	—	—
1 2 5 c c 超		551	571	558	553	541	687
合 計		—	—	—	—	—	—

(出所)二輪車新聞 ※2012年より小型二輪の集計方法変更

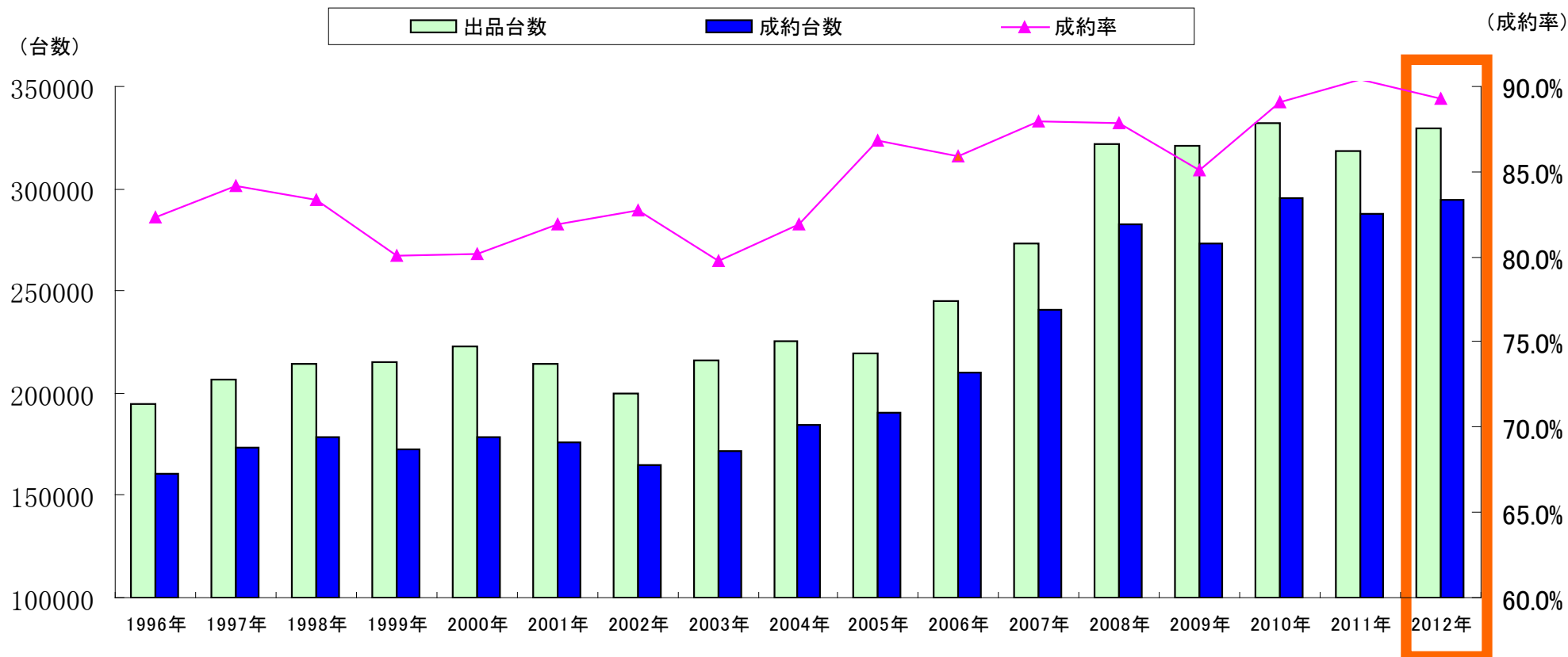
新車販売(出荷)台数の推移

(単位:千台)

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
1 2 5 c c 以下	原付一種(～50cc)	458	295	255	231	257	246
	原付二種(51～125cc)	100	120	65	96	95	90
1 2 5 c c 超	軽二輪(126～250cc)	86	55	37	27	31	39
	小型二輪(251cc～)	40	49	22	25	21	25
合 計		684	522	380	380	405	401

(出所)一般社団法人日本自動車工業会/暦年ベース

■ 当社の主要販売先であるバイクオークション市場の動向



出典: 二輪車新聞 主なオークション総合統計 (注 オークネット社の実績は含まれておりません。)

2011年の出品・成約台数は、横ばい。成約率は堅調

2012年の出品・成約台数は増加 成約率は横ばい

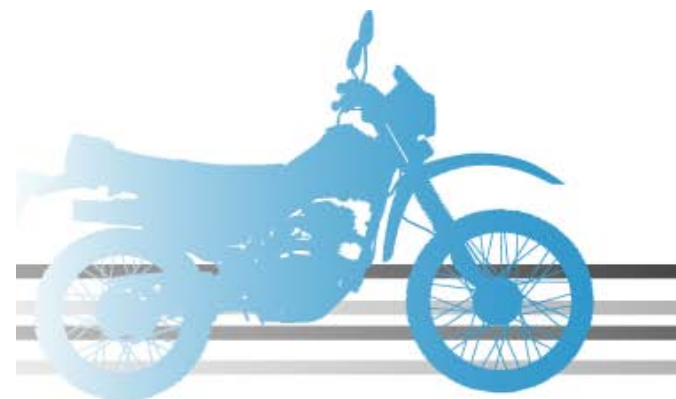


バイクオークション

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料の作成は正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害について、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績が言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知ください。



【連絡先】企画本部経営企画グループIR担当

TEL : 03-6803-8855

<http://www.8190.co.jp/company/>